

117期通信

北海道小樽潮陵高等学校2学年通信
令和3年10月6日(水)発行 第11号
潮陵2学年団

☆長崎特集 (歴史編)

皆さんは長崎についてどのくらいのことを知っていますか？長崎は、遣唐使の派遣拠点となるなど古くから海外との交流があり、日本の端にありながら諸外国から注目を浴びていた地です。今号は見学旅行で訪れる長崎の「歴史」について紹介します。

【ポルトガル船初入港の年にザビエルも来崎】

～キリシタンの町へ～

平戸にポルトガル船が初めて入港したのは、1550年のことでした。イエズス会宣教師、聖フランシスコ・ザビエルは、その前年に鹿児島に上陸して布教を行っていましたが、平戸にポルトガル船が入港したこと知り、拠点を平戸に移して布教活動を展開しました。ここから長崎におけるキリスト教の歴史がスタートしたのです。豊臣秀吉は、キリスト教の広まりに懸念を持ちながらも、ポルトガルとの貿易による利益を優先しました。これによって、現在の長崎市の中心部は栄えていくと同時に、神学校、教会堂が立ち並び、ヨーロッパ文化が華咲いたキリシタンの町となっていきました。

【欧州が布教によって日本を支配】

～恐れた豊臣秀吉は禁教令を～

ポルトガルとの貿易を推進したいがゆえに、キリスト教に対して好意的であったとされる豊臣秀吉。しかし、封建社会の中で、神の前での平等を理念とするキリスト教が広まることは、秀吉が図る天下統一の妨げとなります。1587年、秀吉は「伴天連追放令」を出しました。豊臣政権からの圧力がありながらも信仰を続けるキリシタンたち。しかし、布教によってヨーロッパが日本を侵略すると考えた秀吉は、1597年、フランシスコ会の宣教師・イエズス会修道士ら26人を長崎の西坂で処刑しました。

【徳川時代に入りさらに強まる弾圧】

～島原の乱が起こり鎖国へ～

徳川時代に入った1605年、キリシタン大名の大村純忠の子・喜前はキリスト教を放棄し、宣教師を領内から追放。幕府はキリシタン弾圧を強め、徳川幕府が禁教令を発令し、宣教師やキリシタンらは長崎港から国外追放を受け、教会堂は破壊されました。長崎に残ったり、再潜入した宣教師や信徒たちに対しても本格的な迫害がおこなわれました。1637年に起きた悲劇が「島原の乱」です。島原・天草の領民3万7千人が、島原半島の原城に立てこもり、3カ月間の籠城の末、幕府軍によって領民は皆殺しになりました。幕府はキリシタン一揆として徹底的に鎮圧しました。

【江戸時代になぜ鎖国は必要だったのか】

幕府はキリスト教が広まることを恐れたことが大きな理由であったことから、キリスト教の布教とは関係の薄い中国などとは鎖国後も貿易を続けたのです。また、貿易と布教を切り離していたオランダとも貿易は従来通りに続けることとなります。日本鎖国政策の完成から、1859(安政4)年の長崎港開港までの218年、長崎は諸外国へ向けた日本唯一の「窓」として機能し続けたのです。

【維新の風は長崎から吹いた！】

～「希望の地」と呼ばれた理由～

「維新の風は長崎から吹いた」といわれる理由は、この地を訪れた坂本龍馬のエピソードからです。勝海舟のお供で初めて長崎を訪れた龍馬は、すでに開港していた長崎港に、たくさんの外国の帆船や蒸気船が停泊する風景を見て「長崎は、わしの希望じゃ」と言ったとされます。町では最新設備の整った病院や外国の軍艦、外国人居留地、ホテル、社交クラブ、レストランなどの西洋文明に出会い、大きな影響を受けました。これが維新回天に向け行動を起こす原動力となり、時代の変化に大きな影響を与えたのです。龍馬は、日本で初めての会社「亀山社中」を長崎に設立。トーマス・ブレーク・グラバーなどの商人から武器弾薬などの物資を仕入れ、日本各地へ運ぶという取引を行うことで、当時まで対立していた薩摩藩と長州藩を結びつけたことが、後に薩長同盟成立に重要な役割を果たすことになりました。大政奉還のきっかけを作った後藤象二郎と龍馬の清風亭会談、長崎を出港した船中で龍馬が書いた船中八策、丸山遊郭で行われた数々の商談や密談など、幕末から明治維新への流れは長崎から始まったといっても過言ではありません。

【近代化と戦争への道のり】

～悲しみを乗り越えて魅力的な町へ～

1923年、長崎と上海を結ぶ「日華連絡船」が運航を始めました。昭和に入ると軍備増強などが進み、長崎の造船所では軍艦建造数が増加します。その後、日本は太平洋戦争に突入。長崎では戦争関連の産業のために学生や勤労奉仕隊が動員されました。1945年8月9日午前11時2分、長崎市上空で原子爆弾が炸裂。死者7万3884人、負傷者7万4909人、被災戸数1万8409戸という破壊的な被害に見舞われました。長崎の人々はこの被爆の悲惨さを忘れず、後世に語り伝え、世界恒久平和を念願するために8月9日を「ながさき平和の日」とし、毎年この日は平和記念像の前において長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が行われています。

【参考HP <https://syugaku.at-nagasaki.jp>】